

古典探究ブック

国語総合・古典(漢文)

【死せる孔明
生ける仲達を走らす】

4年()組()番
()



目次

プリントNo.1	表紙	
プリントNo.2	目次	
プリントNo.3	探究ブックの使い方	
プリントNo.4	はじめに	1 頁
	(1)探究学習とは	
	(2)探究学習の意義	
	(3)探究のプロセス	
	(4)古典における探究学習の意義	
	(5)脚本作りの意義	
	(6)古典における探究学習のサイクル	
	(7)単元計画表	
プリントNo.5	大学入学共通テストについて.....	1 頁
プリントNo.6	事前アンケート.....	1 頁
プリントNo.7	振り返りプリント.....	1 頁
プリントNo.8	予習の仕方の手引き.....	1 頁
プリントNo.9	予習ワークシート.....	1 頁
プリントNo.10	漢文の現代語訳の仕方の手引き.....	1 頁
プリントNo.11	重要句法・用字.....	1 頁
プリントNo.12	予習相互点検票	1 頁
プリントNo.13	入試模擬テストのループリック表.....	1 頁
プリントNo.14	入試模擬テストの問題	1 頁
プリントNo.15	入試模擬テストのループリック表.....	1 頁
プリントNo.16	脚本の書き方の手引き.....	1 頁
	(1)課題の条件	
	(2)セリフの作り方のコツ	
プリントNo.17	脚本のループリック表.....	1 頁
プリントNo.18	脚本ワークシート.....	1 頁
プリントNo.19	脚本作成における関連資料.....	1 頁
	(A)	
	(B)	
	(C)	
プリントNo.20	脚本作りにおけるグループ学習の仕方の手引き.....	1 頁
プリントNo.21	全体を振り返っての自己評価.....	1 頁
プリントNo.22	事後アンケート.....	1 頁

探究ブックの使い方

探究ブックの使い方を説明します。

(1)左綴じにして、使いましょう。

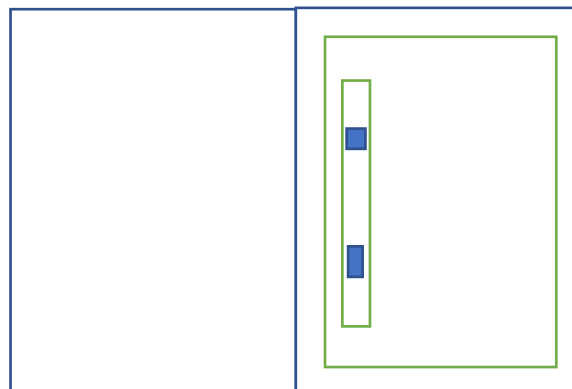
〈探究ブックの向き〉

探究ブックを開いてみましょう。

開いたとき、留め具は右側にありますか。

配布されたプリントが左綴じにできるように

右記のような向きにして使ってください。



(2)表紙と背表紙に学年・クラス・出席番号・氏名を記入しましょう。

〈表紙で記入する箇所〉

- ・ 上から 1 本目と 2 本目のラインの間に
探究ブックと記入する。
- ・ 上から 3 本目のラインの上に
学年・クラス・出席番号を記入する。
- ・ 上から 4 本目のラインの上に
氏名を記入する。

探究ブック
4 年〇組〇番
白鷗 高子

〈背表紙で記入する箇所〉

- ・ 上から 1 本目のラインの上に
探究ブックと記入する。
- ・ 上から 1 本目と 2 本目のラインの間に
学年・クラス・出席番号を記入する。
- ・ 上から 2 本目のラインの下に
氏名を記入する。

探究ブック
四年〇組〇番
白鷗高子

(3)探究ブックは毎時間持参し、配布されたプリントはその都度綴じていきましょう。

予告なく急遽回収することもありますので、毎時間持参してください。プリントには穴を開けて配布しますので配布されたらファイリングしましょう。

(4)配布されたプリントは、一番下に重ねて綴じましょう。

探究ブックは、常に一番上が表紙で、表紙の下が 1 頁、2 頁、3 頁…となるように、配布されたプリントは、一番下に重ねて綴じましょう。

はじめに

これから、古典を通して、探究学習を実施します。

そもそも、探究学習とは何でしょうか。

(1)探究学習とは

物事の意義や本質を見極めようとする過程を通し、知識を獲得するだけでなく、汎用的な能力、思考力などを育成する学習のことを言います。

自ら問いを発見し、知識を活用しながら、情報の収集、整理分析を行うことを通して、問いへの答えを見つけ、表現をし、新しい問いの発見をします。

(2)探究学習の意義

急速なグローバル化や人工知能(AI)の進歩など、これまで以上に予測困難で変化が激しい社会で活躍するためには、知識を獲得するだけでなく、**思考力・判断力・表現力**が必要です。深い思考力・判断力・表現力を育むためには、自ら探究し答えを導く探究学習が最適です

(3)探究のプロセス

探究には**調査(Research)→計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→改善(Action)**という R-PDCA サイクルがあります。

具体的には、1.Research 調査(先行研究の概観、簡単な調査、学習課題の決定)→2.Plan 計画(基礎体験、目標設定、計画立案)→3.Do 実施 (調査研究、作品制作、実践交流)→4.Check 評価(自己評価、相互評価、プロジェクト評価)→5.Action 改善(改善案の作成、改善案の実行、学習の振り返り) という改善のサイクルに沿って活動を積み上げていくことで、探究学習を実現させることができます。

〈探究プロセスの構造図〉



(4)古典における探究学習の意義

古典を通して探究学習を行うことで、「古典探究」の資質・能力を身に着けることができます。

〈古典探究の資質・能力〉

- ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深めることができる。(次期学習指導要領「古典探究」読むこと・エ)
- ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。(次期学習指導要領「古典探究」読むこと・オ)
- ・古典の文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(次期学習指導要領「古典探究」読むこと・カ)
- ・関連する様々な文章に表れた情報を的確に捉え、分析し整理することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。(次期学習指導要領「古典探究」読むこと・キ)

つまり、以下のような力が身につきます。

- ・様々な資料を読み比べる力
- ・内容の解釈を深める力
- ・資料から読み取って関連を考える力。
- ・本文に書いていないことを補完する力。
- ・自分の考えを深める力

(5)脚本作りの意義

古典の授業で脚本を作ることを通して、読むことが深まり、表現力が身につきます。

- ・読むことを深めるために、脚本を書きます。

脚本作りは、情景描写や歴史的背景、中国の文化、文章の構造を意識しながら、本文から、人間関係や行動から見える人物の気持ちをしっかり読み取り、様々な形式の関連資料からも背景知識等を補完する必要があります。

よって、セリフの言い回しや情景描写を考えるうえで、推測や思いつきや個人が現在持っている表現力に頼った創作活動をするのではなく、資料の読み取りを行ったうえで、その知識を活用しながら脚本作りをするため、読むことに重きを置いた実践となります。

つまり、書くことが目的ではなく、書くことによって読むことを深めるのが目的です。

- ・表現力が身に付きます。

本文や関連資料から深く読み取ったことを生かして、実感のもちにくい漢文の平面的な文章をドラマチックな文章へと変容させ、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作るためには、表現を工夫して書く必要があります。

(6)古典における探究学習のサイクル

今回の古典における探究学習においては、教科としての特性や単元内容を踏まえて、1.Research 調査(①学習課題の提示 ②知識の習得)→2.Plan 計画(③計画立案)→3.Do 実施(④調査研究 ⑤作品制作 ⑥実践交流)→4.Check 評価(⑦自己評価 ⑧相互評価 ⑨探究学習の評価)→5.Action 改善(⑩学習の振り返り)というサイクルに沿って活動を積み上げていきます。

〈古典における探究プロセスの構造図〉



(7)単元計画表

回	日程	サイクル	活動	具体的な活動
1	／ () 限	1 調査	①学習課題の提示 ②知識の習得	・ 探究ブックを通して課題を確認する。 ・ 脚本作りに必要な知識を習得する。
2	／ () 限	2 計画	③計画立案	・ 目的や方法、役割分担や実施スケジュール、評価規準などを明確化し、課題経達成のための計画を立てる。
3	／ () 限	3 実施	④調査研究	・ 脚本作りに活用する資料を読み取る。
4	／ () 限		⑤作品制作	・ 脚本を作成する。
5	／ () 限		⑥作品交流	・ 脚本発表会を実施する。
6	／ () 限	4 評価	⑦自己評価	・ 作品の自己評価を行う。
		5 改善	⑧相互評価 ⑨探究学習の評価	・ 作品の相互評価を行う。 ・ 一連の学習の評価を行う。
			⑩学習の振り返り	・ 実施した学習を振り返る。

大学入学共通テスト

2年後、高大接続改革によって、センター入試は「大学入学共通テスト」へと変わります。

(1)大学入学共通テストとは

現在のセンター試験は2020年に廃止となり、大学入学共通テストが2021年度から実施となります。皆さんが最初の受験者です。

これからの先行き不透明な社会で活躍するためには、知識も大切ですが、自ら探究し答えを作り上げていく深い思考力や判断力や、他者と協働する力などの様々な力が必要です。つまり、学力の3要素である「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」をバランスよく身に着けることがより重視されているのです。

(2)従来のセンター試験(国語)との違い

「思考力・判断力・表現力」を身に着けているか判断するために、大学入学共通テストでは、以下のような変化があります。

- ・記述問題が新設されます。

…多面的・多角的な視点から解釈することや、目的や場面等に応じて文章を書くことが求められます。

- ・問題が変化します。

…大問ごとに固定化した分野から、一つの題材で出題される問題へと変わります。従来の、小説・評論・古文・漢文という分野を越えて、題材を組み合わせたり、同一分野において複数の題材を組み合わせたりする問題へと変化します。

(3)平成29年度「大学入学共通テスト」 施行調査の結果

記述式問題は、20～30 時程度、40～50 字程度、80～120 字 程度を記述する問題がそれぞれ1問ずつ出題されました。3問とも無解答率が低かったのにもかかわらず、80～120 字程度を記述する問題の正答率は1割にも満たないという結果になりました。

古典探究【事前アンケート】 4年()組()番()

◆このアンケートは、これから行う6時間分の授業をより良くするために役立てたいと思います。

それぞれの項目の4～1の数字のあてはまるところに、一つずつ○をつけましょう。

4：とてもあてはまる 3：少しあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

※全ての問いの対象期間は、高校入学以降です。

◆漢文について

①漢文は好きです。 4－3－2－1

理由

②漢文の勉強で困っていることはあります。 4－3－2－1

具体的に

③三国志は好きです。 4－3－2－1

理由

◆授業形態について

④教員からの講義だけでなく、友達との話し合いを多用して進めていく…… 4－3－2－1
授業の経験はあります。3か4を選んだ人は教科を教えてください。

⑤設定された課題を通して、調査(Research)→計画(Plan)→実施(Do)→…… 4－3－2－1
評価(Check)→改善(Action)という流れで進めていく授業を経験した
ことはあります。

◆ループリックについて

⑥ループリック(評価のための判断基準表)を事前に提示して評価を行う…… 4－3－2－1
授業を経験したことはあります。

◆探究ブックについて

⑦各自で課題解決できるように、予習の仕方や脚本の書き方や話し合いの仕方…… 4－3－2－1
等の手引きなどのプリントを収録した探究ブックを、授業で活用した経験は
あります。

◆その他

⑧上記以外で伝えたいことがあれば、何でも書いてください。

以上です。ご協力ありがとうございました！

以上です。ご協力ありがとうございました！

以上です。ご協力ありがとうございました！

振り返りカード 貼り付けプリント

4年()組()番()

◆振り返りカードとは

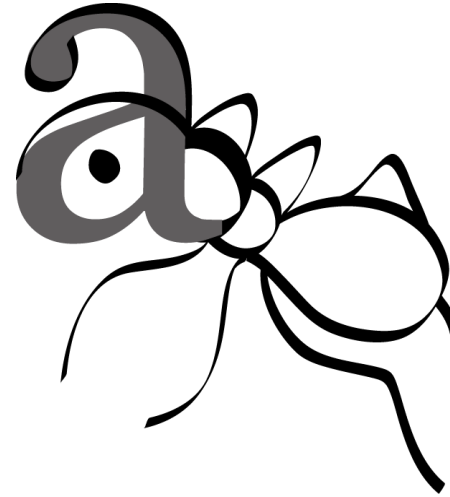
授業の終わり5分で、[あなたがこの時間で習得したこと]と[わからなかったこと]について記入してもらいコメントペーパーです。毎時間提出してもらい、次の時間で返却しますので、この貼り付け用プリントに貼ってください。

◆振り返りの意義とは

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！
自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていけます。また、教科担当も読ませてもらい、次回以降より良い授業作りに生かしたいと思います♪

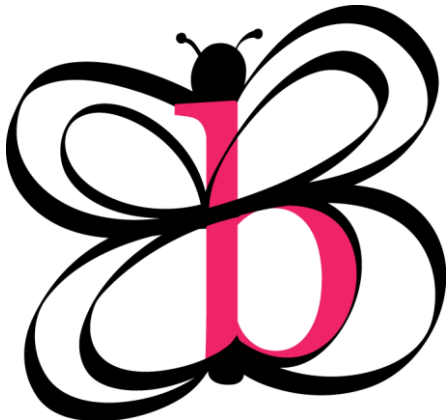
※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。

1 限



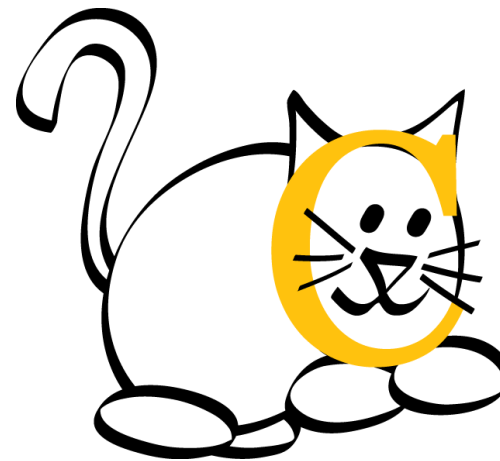
返却された振り返りカードを貼りましょう

2 限

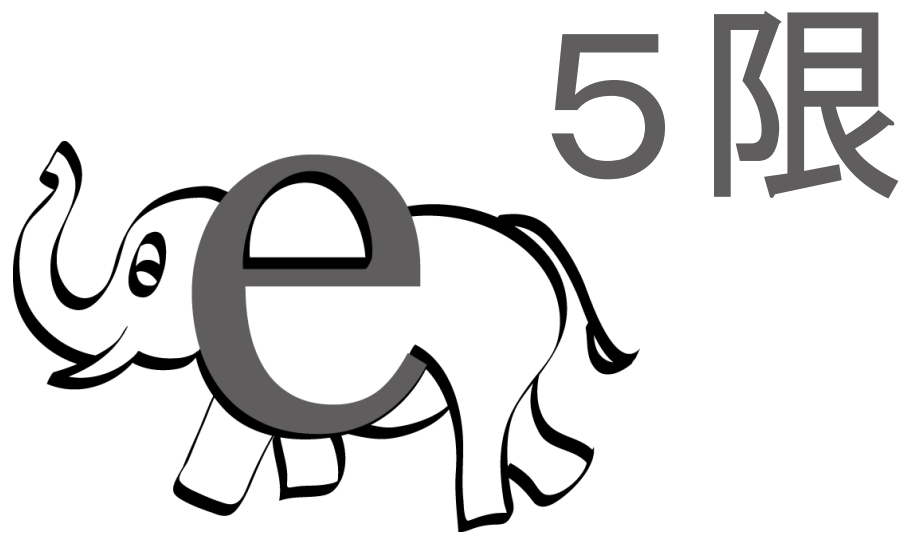


返却された振り返りカードを貼りましょう

3 限



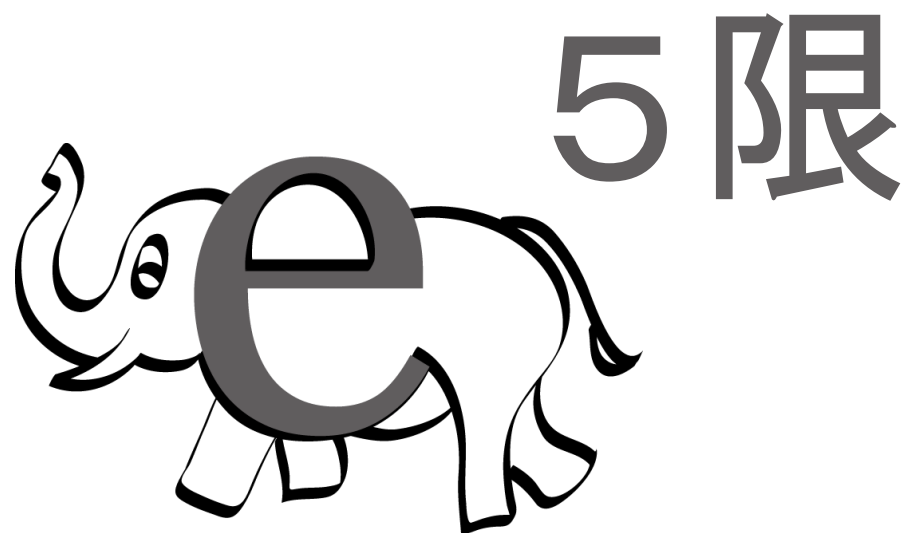
返却された振り返りカードを貼りましょう



返却された振り返りカードを貼りましょう



返却された振り返りカードを貼りましょう



返却された振り返りカードを貼りましょう



返却された振り返りカードを貼りましょう

◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていきます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていきます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていきます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていきます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

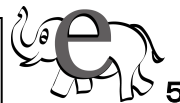
振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていけます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



◆今日も50分間お疲れ様！さあ、自分を振り返りましょう！

プリントNo. 7

振り返りカード 4年()組()番()

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていけます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

※学習課題:「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解し、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持つことができるようになろう。



予習の仕方の手引き

(一) 予習の意義

予習は、初見の漢文の文章と格闘して、自分の力を試すチャンスです。

初見の漢文の文章を読む機会は、実はとても貴重です。当たり前のことだけでも、入試は初見の文章ですよ。だから、いかに初見の漢文の文章を読むことに慣れるかが大切なのです。

模試のとき、句法など覚えているのに意味がとれないなあという人いませんか？漢文の文章に読み慣れていないのです。予習を通して、初読の漢文を読む練習を積み重ねていきましょう。

予習を通して、自分は何がわからないのか、あぶりだしてから授業に臨むことが大切です。

漢文を訳す際、わからないところがあつて当然です。予習の段階で、完璧な現代語訳をしなきゃ、などと決してしまうと、わからないところを（完璧に全て読める人は、もう中国文学の学者になれるかもしれません。大学入試問題も、わからない箇所がある状態でも、とにかく読み進めるのです。完璧に全てがわからないから、自力で読まないことを繰り返していると力がつきません。）

ときたま、思い詰めてネットで訳を検索して丸写しする人がいますが、それはただの手の運動です。不完全を恐れないで、とにかく、自力で訳することにチャレンジしましょう。わからないところは、いっぱいあつていいのです。あとは、わからないの「質」を上げていきましょう。

※自力訳の仕方と「質」については、プリントNo.10「現代語訳の仕方」を参考にしてください。

(二) 予習の注意事項

ノートではなく、配布した「予習ワークシート(プリントNo.9)」に予習してください。

「死諸葛走生仲達」の学習は、全てプリントで行います。この授業で配布したプリントは一枚残らず、探究ブック(配布した2穴ファイル)にどんどん綴じていきます。すると、六時間の全授業が終了した後には、皆さん一人一人が学習課題に対して探究した道筋が残る、オリジナルの探究ブックが完成します。それを評価したいと思います。

「死諸葛走生仲達」の学習が終わるとノートを 사용합니다ので、ノートは大切に保管しておいてください。

困りごとがあれば、気軽に相談にきてください。

漢文の予習に取り組むうえでも、なにかわからないことや困ったこと等があつて、一人で悩んでいたのなら、遠慮なく相談にきてください。

予習の点検は、相互点検で行います。

次回、プリントNo.12「予習相互点検票」を活用して、生徒同士で予習の相互点検を行います。

(三) 予習ワークシートについて

一段目は本文、二段目は書き下し文、三段目は現代語訳、四段目は現代語訳に役立つ句法や用字等を書くスペースです。ワークシートに従って、予習を進めてください。

教科書一四三頁 死諸葛走生仲達(十八止格)									
予習ワークシート その1 四年「二組」前									
「本文」死、諸葛走、生、仲達、	「現代語訳」死んだ諸葛亮が走っている司馬懿を捉獲させた。	① 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。	② 蜀漢三國時代に曹丕が建てた王朝。	③ 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。	④ 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。	⑤ 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。	⑥ 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。	⑦ 蜀漢三國時代に曹丕が建てた王朝。	⑧ 蜀漢三國時代の二二二年、劉備が漢を復興するとして魏に王命を頒布する最高位の大臣。
① 蜀漢、丞相高、應、衆、十、万、	①、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、
又、由、斜、谷、口、伐、魏、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、
遂、軍、瑯、琊、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、
② 魏、大、將、軍、司、馬、懿、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、
引、兵、拒、守、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、
③ 亮、數、挑、司、馬、懿、戰、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、
④ 懿、不、出、	①、	②、	③、	④、	⑤、	⑥、	⑦、	⑧、	⑨、

〈予習の手順〉

- ①二段目に、本文を訓読して書き下し文を記入。
- ②プリント下半分を折り曲げて、自分の書き下し文と裏面の正答を照合し、間違った箇所は赤ペンで訂正。
- ③四段目に、指定された〆句法〰の書き下し文と訳を明説漢文で調べて記入。
- ④三段目に、四段目の〆句法・用字〰や〆脚注の語彙〰を活用して、現代語訳を記入。

(四) 予習状況の目標

プリントNo.12「予習相互点検票」の、「[よし]の評価以上を目指しましょう。

漢文予習状況点検票【死諸葛走生仲達】 評価日 月 日	
評価を受ける人が記入、	4年 組 番 のノートについて、
評価者が記入、	4年 組 番
言平価面	評価の基準
0～4の間でつける、	4【めでたし】…完璧な予習で、まるで東大合格生のノートのようだ！
↓	3【よし】……本文写し+書き下し文+アルファ(句法や語彙調べなど)+分かる範囲での訳 *訳は完璧を求めているので、文法事項や意味調べを駆使して、できる限り頑張って自力で格闘して訳せている様子が見えるか。
	2【よろし】……本文写し+書き下し文+アルファ(句法や語彙調べなど) *本文写し+書き下し文+訳だけは1点。なぜその訳になったのか、が大切。
	1【わろし】……本文写し+書き下し文 *本文と書き下し文だけでは予習とは言えない。 *訳があっても、考えた痕跡なく、ネットの訳等丸写しも同様。
	0【あし】……本文写しのみ

予習ワークシート その1

四年「組」「番」

「

【本文】死^セル 諸 葛 走^{ラス}ニ 生^{ケル} 仲 達^ヲ一

(1) 蜀¹ 漢¹ 丞 相 亮、³ 悉^{4クシテ}ニ 衆 十 万^ヲ一、

又 由^リニ 斜⁵ 谷 口 伐^テレ 魏^ヲ、

進^{ミテ} 軍^スニ 渭⁶ 南^ニ。

(2) 魏⁷ 大 将 軍 司⁹ 馬 懿、

引^{キテ}レ 兵^ヲ 拒¹⁰。 守^ス。

(3) 亮 数 挑^ムニ 司 馬 懿^ニ 戦^{ヒテ}一。

(4) 懿 不^レ 出^デ。

【訓読】死せる諸葛、生ける仲達を走らす

(1)

(2)

(3)

(4)

予習の手順

- ①二段目に、本文を訓読して書き下し文を記入。②プリント下半分を折り曲げて、自分の書き下し文と裏面の正答を照らし合わせる。間違った箇所は赤ペンで訂正。
- ③四段目に、指定された〈句法〉の書き下し文と訳を明説漢文で調べて記入。

【現代語訳】死んだ諸葛亮が生きている司馬懿を逃走させた。

(1)

(2)

(3)

(4)

(1) 〈脚注の語彙〉

- 1 蜀漢…三国時代の二二一年に、劉備が漢を再興するとして建てた王朝。
- 2 丞相…君主を支えてすべての政務を処理する最高位の大臣。
- 3 亮…諸葛亮（一八一—二三四年）字は孔明。劉備に仕え、赤壁の戦いで魏の曹操を破った。劉備没後、その子の劉禪を補佐し、「出師の表」を奉って漢中に出陣、五丈原で魏軍と対戦した。
- 4 悉…出し尽くす。総動員する。
- 5 斜谷…長安の南方にある谷の名前。魏から蜀へ通ずる道の入り口にあたる。
- 6 渭南…「渭南」は、渭水の南岸のこと。ここは五丈原一帯をさす。

(2) 〈脚注の語彙〉

- 7 魏…三国時代に曹丕が建てた王朝。
- 8 大將軍…軍の最高責任者。政治的にも重責を担う。
- 9 司馬懿…一七九—二五一年。魏の重臣。字を仲達という。
- 10 拒守…防ぎ守る。

予習ワークシート その2

四年「組」「番」

「

(5) 乃^チ 遺^{ルニ} 以^{ツテスニ} 巾¹¹ 幘 婦人之服^ヲ。

(6) 亮[、] 使者 至^{ルニ} 懿[、] 軍^ニ。

(7) 懿 問^{ヒテニ} 其[、] 寢食 及^ビ 事^ノ 煩簡^ヲ、

而 不^レ 及^{、バ} 戎¹³ 事^ニ。

(8) 使者 曰^{ハク、}

「諸葛公 夙^ニ 興^キ 夜^ニ 寢^ネ、

罰¹⁴ 二十以上^ハ 皆 親^ラ 覽^ル。

(9) 所^ハ 噉¹⁵ 食^{スル}、 不^レ 至^{ラニ} 数^ニ 升¹⁶。

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

①二段目に、本文を訓読して書き下し文を記入。②プリント下半分を折り曲げて、自分の書き下し文と裏面の正答を照らし合わせる。間違った箇所は赤ペンで訂正。

③四段目に、指定された〈句法〉の書き下し文と訳を明説漢文で調べて記入。

(5)

(5) 〈脚注の語彙〉

11 巾幘…女性の装身具。

(7) 〈脚注の語彙〉

12 事煩簡…仕事の多さ。

(6)

13 戎事…軍事。

(8) 〈脚注の語彙〉

14 罰二十杖…二十回叩く体罰。刑罰のうち

(7)

最も軽いものの一つ。

(9) 〈脚注の語彙〉

15 所噉食…食べるもの。食事の量。

(8)

16 升…当時の一升は、約〇・二リットル。

(9)

予習ワークシート その3

四年「組」「番」

「

(10) 懿 告^ゲレ 人^ニ 曰^{ハク}、「食 少 事 煩^{ヘシ}。」

(11) 其^レ 能^ッ 久^カラン 乎^ト。」

(12) 亮 病 篤^シ。

(13) 有^リニ 大 星^ニ、 赤^{クシ}テ 而 芒^{アリ}。¹⁷

(14) 墜^ツニ 亮[、] 營 中^ニ。^一

(15) 未^ダレ 幾^{ナラ} 亮 卒^ス。¹⁸

(16) 長¹⁹ 史 楊²⁰ 儀、 整^ヘテ レ 軍^ヲ 還^ル。

(17) 百²¹ 姓 奔^リテ 告^グレ 懿^ニ。

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

予習ワークシート その4

四年「組」「番」

「

(18) 懿 追^フ之^ヲ。

(19) 姜²₂ 維 令^ムニ 儀^フ_テ 反^シ_レ 旗^ヲ 鳴^ラ_シ^テ 鼓^ヲ、

若^ク_ニ 将^ニ_レ 向^カ_ハ^{ント}_レ 懿^ニ。
ルガ

(20) 懿 不^ニ 敢^ヘ_テ 逼^ラ_一。

(21) 百 姓 為^リ_テニ 之^ガ 諺^ヲ_一 曰^ハ_ク、

「死^セ_ル 諸 葛、 走^ラ_ス 生^ケ_ルニ 仲 達^ヲ_一。」

(22) 懿 笑^ヒ_テ 曰^ハ_ク、「吾 能^ク 料^ル_モ 生^ヲ、

不^ト_レ 能^ハ_レ 料^ル_レ 死^ヲ。」

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

①二段目に、本文を訓読して書き下し文を記入。②プリント下半分を折り曲げて、自分の書き下し文と裏面の正答を照らし合わせる。間違った箇所は赤ペンで訂正。

③④段目に、指定された〈句法〉の書き下し文と訳を明説漢文で調べて記入。

④三段目に、四段目のへ句法・用字とへ脚注の語彙を活用して現代語訳を記入。

22 姜維：二〇二六四年。蜀の將軍。

句法


 令しむ
 二
 Aヲシテ
 Bセ
 一
 (明説 頁)

意味：「
」

書き下し文：

訳
：

若
（明説 頁）

意味：「

書き下し文：

訳
:

将 (明説 頁)

意味：「

書き下し文：

訳
:

(20) \wedge 句法 \vee

不
二
敢
一
（明說
頁

意味：「」

書き下し文：

訳
:

(21) \wedge 句法 \vee

能
（明說 頁）

意味：「
」

書き下し文：

訳
:

不能
(明説 頁)

意味：「
」

書き下し文：

訳
:

◆自分が書いた書き下し文と照らし合わせて、
間違った箇所は赤ペンで直しましょう。

【訓読】 死せる諸葛、生ける仲達を走らす

(1) 蜀漢の丞相亮、衆十万を悉くして、

又斜谷口より魏を伐ち、

進みて渭南に軍す。

(2) 魏の大將軍司馬懿、

兵を引きて拒守す。

(3) 亮数司馬懿に戦ひを挑む。

(4) 懿出でず。

◆自分が書いた書き下し文と照らし合わせて、
間違った箇所は赤ペンで直しましょう。

(5) 乃^{すなは}ち遺^{おく}るに巾^{きん}幮^{くわく}婦^ふ人^{じん}の服^{ふく}を以^もつてす。

(6) 亮^{りやう}の使^し者^{しや}懿^いの軍^{ぐん}に至^{いた}る。

(7) 懿^い其^その寢^{しん}食^{じく}及^{およ}び事^{こと}の煩^{はん}簡^{かん}を問^とひて、

戎^{じゆう}事^じに及^{およ}ばず。

(8) 使^し者^{しや}曰^いはく、

「諸^{しよ}葛^か公^{こう}夙^{つと}に興^おき夜^よに寐^いね、

罰^{ばつ}二^に十^{じふ}以^い上^{じやう}は皆^{みな}親^{みづか}ら覽^みる。

(9) 噉^{たん}食^{じやく}する所^{ところ}は数^{すう}升^{しやう}に至^{いた}らず。」と。

◆自分が書いた書き下し文と照らし合わせて、
間違った箇所は赤ペンで直しましょう。

(10) 懿人いひにんに告つげて曰いはく、「食じ少すなく事こと煩わづはし。

(11) 其それ能よく久ひさしからんや。」と。

(12) 亮りやう病やまひ篤あつし。

(13) 大星たいせい有あり、赤あかくして芒ぼうあり。

(14) 亮りやうの営えい中ちゆうに墜おつ。

(15) 未いまだ幾いくならずして亮卒りやうしゆつす。

(16) 長史ちやうし楊儀軍やうぎぐんを整ととのへて還かへる。

(17) 百姓ひやくせう奔はしりて懿いに告つぐ。

◆自分が書いた書き下し文と照らし合わせて、
間違った箇所は赤ペンで直しましょう。

(18) 懿^い之^{これ}を追^おふ。

(19) 姜^{きやう}維^ゐ儀^ぎをして旗^{はた}を反^{かへ}し鼓^{つづみ}を鳴^ならして、

将^{まさ}に懿^いに向^むかはんとするがごとくせしむ。

(20) 懿^い敢^あへて逼^{せま}らず。

(21) 百^{ひゃく}姓^{せい}之^{これ}が諺^{ことわざ}を為^{つく}りて曰^いはく、

「死^しせる諸^{しよ}葛^{かつ}生^いける仲^{ちゆう}達^{たつ}を走^{はし}らす。」と。

(22) 懿^い笑^{わら}ひて曰^いはく、「吾^{われ}能^よく生^{せい}を料^{はか}るも、

死^しを料^{はか}る能^{あた}はず。」と。

漢文学習の手引き

(一) 漢文の学習について

漢文の学習は、「**句法・用字の習得**」と、「**漢文の文章に読み慣れる**」という二輪の車輪が両方回って、やっと車がスイスイと軌道に乗って動きだします。どちらか一方でも駄目なのです。同時並行で実施してください。

・句法・用字の習得を大切に。

句法・用字の習得がなぜ必須なのか。それは、その文に使われている句法や用字を知らないと、意味が取れないものがあるからです。例えば…皆さんが宿題テストで取り組んだ「虎の威を借る狐」に

「天帝使^三我^二長^三百獸^二。」という一文がありました。

書き下し文は「天帝我をして百獸に長たらしむ。」となりますね。では、現代語訳してみましよう。

天帝…我…百獸…これは、漢字から連想もしくは漢和辞典を引きます。

天帝…私…多くの獸…と意味がとれると思います。しかし、そこがわかってても、これは使役の句法がわからないと、残念ながら絶対に現代語訳できません。

ム ヲシテ セ

A使^二B C^一 という使役の句法覚えていますか。

書き下し文は「AはBをしてCせしむ」、現代語訳は「AはBに命令してCさせる」です。

では、この句法を活用して訳してみましよう。

A B C

「天帝使^三我^二長^三百獸^二。」と句法に気づき、なおかつ句法の意味がわかると、

「天帝は私を多くの獸のかしらにさせた。」と訳せますね。

よって、句法・用字を大切にしながら、学習していきましょう。

・漢文の文章に読み慣れる。

初読の文章と格闘した体験が少ないと、「どうせ、漢文読めないし…」と文章を読みながら、弱気になり、投げやりになってしまうことも…。

漢文も語学です。授業を通して定期的に読み続けることが大切です。また普段の、予習の積み重ねが、自信と実力をつけてくれます。粘り強く読みましょう！

(二) 漢文読解の三箇条

第一条・・・印をつけながら読もう！

何を指しているのかを意識しながら読むことが大事です。なかなか初読の文章を読み進められないという人は、印をつけて訓練してみるのもおすすめです。

印は何でもいいですが、例えば：人名は□、国名・地名・時間は◇、指示語は○、対句は波線、脚注の説明は簡潔にして語の右横に書くなどすると、それらの関係性が浮かび上がって見えてきます。慣れてくると印をつけるスピードが速くなりますし、むしろ印をつけなくてもよくなります。

首席

吾郷 錢明經 善詩。每歲督学科歲試古詩、錢必冠軍。

歲題為天柱。錢入場時、飲酒過多醉、入号睡。

同試者疾其每試居首不肯呼之使醒。

有納卷者過其旁、乃告之。錢始杳然、已無及……

(センター本試験・平成十九年)

第二条・・・手掛かりは沢山あることを忘れずに、なんとしても読もう！

① わからない漢字があったら、

・二字熟語にして考えよう。

・同音の異なる漢字に置き換えよう。

贈

遂至秦、持千金之資幣物、厚遺秦王寵臣中庶子蒙嘉。

威光・威嚴

嘉為先言於秦王曰、「燕王誠振怖大王之威……」(史記「荊軻」)

・それでも駄目なら止まらず、いったん保留にして最後まで読み進めよう。

その後に、言い換えがあったりして判明することもあります。いつまでも、その時点で止まらず、読み進めましょう。わかったら、またそこまで戻ればよいのです。

② リード文・脚注があれば、しっかり読もう。

リード文や脚注の記載が、問いの鍵になることもあります。意外と重要なことが書いてあります。

第三条・・・読解を諦めない！

最後は、「絶対読み取ってやる！」という強い気持ちが必要です。

文章の途中でわからないところがあっても、強い気持ちで最後まで読むと、途中のわかりにくい文脈がはつきりしたり、わからない語の言い換えが判明したりすることがあります。

(三) 現代語訳の仕方

手順① 人名・国名・場所・時間や指示語には印をつけて、意識して読む。(第一条参照)

指示語が指す内容を線で結びつけたりしても読みやすくなる。
自分が読みやすいように、スラッシュで切れ目をいれるのもおすすめ。

手順② 脚注をチェックして、語の右横に簡単にメモする。

最高位の大臣 諸葛亮 総動員して

(1) 蜀漢丞相亮、悉二衆十万、

又由二斜谷口伐レ魏、

魏から蜀への道の入り口

五丈原一帯

進軍二渭南。

手順③ 句法・用字に気づき、句法・用字を正しく訳す。

※句法・用字に気づいても、その意味がわからなかったら、明説漢文の索引や漢和辞典で確認して調べる。

手順④ 他にも意味が分からない漢字があったら、第二条を駆使するか、漢和辞典で調べる。

最高位の大臣 諸葛亮 総動員して

(1) 蜀漢丞相亮、悉二衆十万、

明説一三五頁・くから

魏から蜀への道の入り口

又由二斜谷口伐レ魏、

漢和辞典「軍」軍営を置く

五丈原一帯

進軍二渭南。

大衆？民衆？群衆？

本文(11)・(19)・(20)・(21)には重要な句法がひそんでいます。これらの句法を活用して、現代語訳をしましょう。

(11) 其能久乎。」

- ・書き下し文：其れ能く久しからんや。」と。
- ・現代語訳：

【(11)の現代語訳に活用する句法】

- ④ 其能久乎 (明説 69・144頁)
- ・意味 …… 反語
 - ・書き下し文 …… 「セ」ンや ※文末の助字だけで反語を表す場合。「〔セ〕ンや」と読む。
 - ・訳 …… 「できるだろうか、(いや、できない)」。

(19) 姜維令儀反旗鳴鼓、若将向懿。

- ・書き下し文：儀をして旗を反し鼓を鳴らして、将に懿に向かはんとするがごとくせしむ。
- ・現代語訳：

【(19)の現代語訳に活用する句法】

- ④ 令儀反旗鳴鼓 (明説 86頁)
- ・意味 …… 使役
 - ・書き下し文 …… AヲシテB〔セ〕シム
 - ・訳 …… AにBさせる。
- ※令 上から下に命令してさせる。Bが長くなった時は「Aに命じてBさせる」と訳すと文意が通じる。

④ 若

- ・意味 …… 比況
 - ・書き下し文 …… ごとシ
 - ・訳 …… 〴〵のようだ
- ④ 将 (明説 133頁)

- ・意味 …… 再読文字
- ・書き下し文 …… まさニ〴〵〔セ〕ントす
- ・訳 …… 〴〵しようとする。〴〵するつもりだ。

(20) 懿 不_レ敢_ヘ逼_テ。

- ・書き下し文…敢_あへて逼_{せま}らず。
- ・現代語訳…

【(20)の現代語訳に活用する句法】

- ㊦ 不_レ敢_ヘ (2)
・意味…否定
- ・書き下し文… あへて「セ」ず
- ・訳…強いて「しない。」「することはない。」

(明説 52 頁)

(21) 吾_{われ}能_ル料_{ハカ}生_ヲ、不_レ能_ハ料_{ハカ}死_ヲ。

- ・書き下し文…吾_{われ}能_よく生_{せい}を料_{はか}るも、死_しを料_{はか}る能_{あた}はず。
- ・現代語訳…

【(21)の現代語訳に活用する句法】

㊦ 能_ル
(明説 125 頁)

- ・意味…可能
- ・書き下し文…よく
- ・訳…「できる」
- ㊦ 不能_ハ
(明説 125・41 頁)
- ・意味…不可能
- ・書き下し文…あたふ
- ・訳…「できない」

手順① 評価を受ける人が、自分の名前と評価日を記入して、評価者に渡しましょう。

手順② 評価者は、自分の名前を記入して、ノートを見ながら評価をつけましょう。

漢文予習相互点検票【死諸葛走生仲達】 評価日 月 日

評価を受ける人が記入	
4年 組 番	のノートについて
評価者が記入	4年 組 番
言平価	評 価 の 基 準 (0 から上へ向かって確認していくとつけやすい。)
0～4の間 でつける ↓	<p>4【めでたし】…完璧な予習で、まるで東大合格生のノートのようだ！ ＊【よし】の内容＋プラスアルファ（指定の句法以外に自分がわからない語彙を調べるなど。）のものがあるか。</p> <p>3【よし】……書き下し文＋書き下し文の添削（赤ペン） ＋指定の句法調べ＋わかる範囲での訳 ＊訳は完璧を求めているので、文法事項や意味調べを活用して、できる限り頑張って自力で格闘して訳せている様子が見えるか。</p> <p>2【よろし】……書き下し文＋書き下し文の添削（赤ペン） ＋指定の句法調べ ＊本文写し＋書き下し文＋添削＋訳だけは1点。 ＊訳があっても、句法調べの痕跡がないものやネットの訳等の丸写しも同様。 句法を活用して訳しましょう！なぜその訳になったのか、が大切。</p> <p>1【わろし】……書き下し文＋書き下し文の添削（赤ペン）</p> <p>0【あし】……書き下し文</p>

手順③ プラスアルファの加点があれば0.5単位で可。

その理由も下記に記入のこと。

加点理由()

手順④ **2点未満【よろし・わろし・あし】だった人は記入してください**

Q1 今回、2点未満の仕上がりになったのはなぜですか。

理由を振り返って、次回に生かしましょう。

Q2 いつ再提出しますか？予習の質と授業進度等を踏まえて設定してください。

月 日 ()

入試模擬テスト課題について

(一) 課題

「吾能料生、不能料死。」という最後の司馬懿の言葉に込められた気持ちを五〇字以内で書け。

(二) ルーブリック評価

評価の観点 評価のレベル	人物の心情について考えを深める	根拠をもとに論理的に記述する	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル 3	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りに自分の考えと結び付けている。	根拠をもとに明確に述べられたわかりやすい記述である。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル 2	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りができていない。	根拠の提示がやや不明確で論理が十分ではない。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル 1	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りが不十分である。	判断の根拠や論理性が不十分である。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

《自己評価の手順》

手順①

全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

《自己評価をしてみよう》

評価の観点 評価のレベル	人物の心情について考えを深める	根拠をもとに論理的に記述する	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル 3	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りに自分の考えと結び付けている。	根拠をもとに明確に述べられたわかりやすい記述である。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル 2	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りができている。	根拠の提示がやや不明確で論理が十分ではない。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル 1	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りが不十分である。	判断の根拠や論理性が不十分である。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

人物の心情について考えを深める	+	根拠をもとに論理的に記述する	+	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	+	適切に体裁を整える	=	合計
点		点		点		点		点

(四)教科担当から

《評価》

評価の観点 評価のレベル	人物の心情について考えを深める	根拠をもとに論理的に記述する	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル3	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りに自分の考えと結び付けている。	根拠をもとに明確に述べられたわかりやすい記述である。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル2	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りができている。	根拠の提示がやや不明確で論理が十分ではない。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル1	司馬懿の笑いの種類について、本文からの読み取りが不十分である。	判断の根拠や論理性が不十分である。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

《コメント》

人物の心情について考えを深める	+	根拠をもとに論理的に記述する	+	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	+	適切に体裁を整える	=	合計
点		点		点		点		点

- ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深めることができる。（次期学習指導要領「古典探究」読むこと・エ）
- ・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。（次期学習指導要領「古典探究」読むこと・オ）
- ・ 古典の文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（次期学習指導要領「古典探究」読むこと・カ）
- ・ 関連する様々な文章に表れた情報を的確に捉え、分析し整理することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。（次期学習指導要領「古典探究」読むこと・キ）

つまり、以下のような力が身につきます。

- ・ 様々な資料を読み比べる力
- ・ 内容の解釈を深める力
- ・ 資料から読み取って関連を考える力。
- ・ 本文に書いていないことを補完する力。
- ・ 自分の考えを深める力

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

国 語

記述式
15分

注 意 事 項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
文字は判読できるよう丁寧に記入しなさい。
- 2 この問題冊子は、2 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 **記述式の解答は、一つのマス目に一文字ずつ楷書で記入しなさい。**なお、問題冊子内の下書き欄を使用してもよいが、**解答は必ず解答用紙に書きなさい。**
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 5 問題冊子は最後に回収します。監督者の指示に従って返却しなさい。

第1問

次の文章は、三国時代に強大な魏に対し、蜀が重臣・諸葛亮の知略をもつて対抗しようとした五丈原の戦いを記したものである。次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。なお、訓点是一部省略した。

蜀漢丞相亮、悉クシテ二衆十萬一、又由リ斜谷口伐チ魏、進ミテ軍二渭南。魏大將軍司馬懿、引キテ兵拒守。亮数挑ム司馬懿戰一。懿不レ出。乃遣ルニ以二巾幘婦人之服一。亮使者至ル懿軍一。懿問ヒテ二其寢食及事煩簡一、而不及バ戎事一。使者曰、「諸葛公夙興夜寢、罰二十以上皆親覽。所ハ二噉食一、不レ至二数升一。」懿告ゲテ人曰、「食少事煩。其能久乎。」亮病篤。有リ二大星一、赤而芒。墜ツ亮營中一。未ダ幾亮卒。

長史楊儀、整ヘテ軍還。百姓奔告グ懿。懿追フ之。姜維令ム二儀反旗鳴鼓、若一將向懿。懿不ヘテ敢逼一。百姓為二之諺一曰「死諸葛、走生二仲達一。」懿笑曰、「吾能料ル生、不ト能料ハ死。」

(『十八史略』による。)

問題

傍線部「吾能く料死。」という最後の司馬懿の言葉に込められた気持ちを五〇字以内書け。（句読点を含む）。

(次は問題の下書き欄。解答は必ず解答用紙に書くこと。)

[illegible]

脚本作りの手引き

(一) 脚本作りの意義

古典の授業で脚本を作ることを通して、読むことが深まり、汎用的な力が身につきます。

- ・ **読むことを深めるために、脚本を書きます。**

セリフの言い回しや情景描写を考えるうえで、推測や思いつきや個人が現在持っている表現力に頼った創作活動をするのではなく、資料の読み取りを行ったうえで、その知識を活用しながら脚本作りをするため、読むことが深められます。

つまり、書くことが目的ではなく、書くことによって読むことを深めるのが目的です。

- ・ **内容の解釈や自分の考えを深める力、様々な資料を読み比べて関連を考える力、本文に書いていないことを資料から読み取って補完する力が身に付きます。**

(次期学習指導要領「古典探究」読むこと・エ・オ・キ・カ)

脚本作りは、情景描写や歴史的背景、中国の文化、文章の構造を意識しながら、本文から、人間関係や行動から見える人物の気持ちをしっかりと読み取り、様々な形式の関連資料からも背景知識等を補完する必要があります。

よって、内容の解釈や自分の考えを深める力、様々な資料を読み比べて関連を考える力、本文に書いていないことを資料から読み取って補完する力が身に付きます。

- ・ **表現力が身に付きます。**

本文や関連資料から深く読み取ったことを生かして、実感のもちにくい漢文の平面的な文章をドラマチックな文章へと変容させ、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作るためには、表現を工夫して書く必要があります。

(一) 一般的な脚本の概要

脚本とは

脚本は、劇を上演するために書かれており、人物の動きや台詞、舞台設定など演出に関する注意などを書き示してあるもののことを言います。

脚本、戯曲、オーディオドラマ、シナリオの違い

舞台などの場合は戯曲、ラジオ・CDなどの耳で聞く場合はオーディオドラマ、映画・テレビなどの場合は脚本と言います。(シナリオは脚本のことですが、現在シナリオという名称を使うのはフランスと日本だけだそうです。) ただ、どの形態も、著作権法で脚本という言い方で統一されています。

脚本と小説の違い

脚本は、主として登場人物が喋る台詞(会話)できていて、状況をト書き(地の文)で説明しますが、小説は、地の文が主となっていて、会話が少なめです。

脚本における三つの構成要素

脚本は、「柱」「ト書き」「セリフ」という三つの要素から構成されています。

・柱：場所と時間

柱は、場所と時間のことです。時間帯とは、一日の時間の推移で、早朝、朝、昼、夕方、夜、深夜、回想などを言います。

・ト書き：人物の動作(出入り、動き、仕草)とシーンの情景・状況描写など

ト書きとして書くことは、役者の出入り・動作(仕草)、人物の風貌や様子など人物紹介、場の説明や舞台装置への言及、季節や天候などの指定、照明に関する直接的な指示、音楽や効果音の指定・指示、衣装や持ち道具・小道具の指定など、人物の台詞では表せないけれど芝居として必要と思われることを文章として示します。

もともと「ト書き」という言い方は歌舞伎の台帳(脚本)にある「ト、花道に去る」「ト、見得を切る」など、役者の出入りや動作を指定する用語から取ったものです。

・台詞：登場人物が発する言葉の全て

台詞は登場人物の口を借りて人物の心理や感情、関係をわからせたり、事件や事情や状況を語らせたりする言葉です。

台詞は、事実や時代背景を知らせたり、人物の心理や感情を表したり、ストーリーを進展させるという機能があります。脚本は台詞とト書きで表現するものだから台詞のよしあしは重要なポイント。

(三) 朗読劇の脚本の書き方

今回の授業では、皆さんが文化祭で行った劇のように、身体表現を使って全身で演技を行う劇の脚本ではなく、声の演技だけで表現する、朗読劇を行います。

次の、構成要素のうち、「柱」は既に指定してあります。また、「ト書きⅡ(今回はナレーターの台詞)」と「台詞(発している言葉と心の声)」は、穴埋め式になっていますので、問いに従って、資料から読み取って記載しましょう。

・柱(場所と時間)の書き方

柱は、○印の後に、場所と時間を書きます。時間帯について特に設定がなければ書かなくてよいです。

(例) ○都立白鷗高校 体育館・深夜

・ト書き(人物の動作・情景描写)の書き方

ト書きとして書くことは、

- ・人物の動作(出入り・仕草・動作)
- ・人物紹介(人物の風貌や様子など)
- ・情景描写(場や季節や天候などの説明) 等です。

***今回作成するのは、朗読劇ですので、ト書きの部分はナレーターの台詞にします。**

・台詞(人物の言葉と心の声全て)の書き方

台詞は、行頭にまず誰の話す台詞なのか分かるように名前を書きます。その下に台詞を鉤括弧に括ります。人物が発する言葉だけでなく、心の声も台詞とします。

- ・人物が発する言葉は「」で囲みます。
- ・人物の心理や感情などを表す心の声は()で囲みます。

《台詞作りのべからず集》

(1) 耳だけで聴き取ったときに意味がとりにくい台詞にはするべからず

耳で聴きとれる自然体の言葉を使いましょう。たとえ時代物の台詞でも、喋りにくい台詞は聞きにくいです。凝った言い回しは、意味が分からないので、声に出して読みながら書いたり、随時グループで読み合わせを実施しながら、作成しましょう。

(2) 誰に対しても同じ話し方にするべからず

人物同士の人間関係や上下関係を知り、誰に対しても同じ調子にならない話し方にしましょう。皆さんも、同じ内容でもお友達に話す言葉、先輩に話す言葉、先生に話す言葉では違うはずです。

(3) 人物を知らないままに台詞を書くべからず

現在の事情や葛藤を理解できると、いかにもその人物らしく喋るから、脚本がいきいきしてきます。

(四)課題(朗読劇の脚本作り)

「死諸葛走生仲達」の登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作ることを通して、自分なりの深い考えを持ちましょう。

台詞の言い回しや情景描写を考えるうえでも、推測や思いつきや、個人の表現力に頼った創作活動をするのではなく、資料の読み取りを行ったうえで、その知識を活用しながら協働で脚本作りを行います。

(五)課題(朗読劇の脚本作り)の条件

課題の条件を課します。この条件を守って、脚本作りをします。

①事前に指定された設定に沿って書きます

時、場所、人物、柱などの設定はワークシートで指定していますので、それに沿って脚本作りをしてください。

《設定》

時…二三四年

場所…五丈原

人物… 諸葛亮(孔明)、司馬懿(仲達)、姜維、楊儀、蜀の使者、魏の重臣、人々

柱…プロローグ、シーン1魏の軍営、シーン2魏の軍営、シーン3魏の軍営、シーン4魏の軍営、

シーン5蜀の軍営、シーン6魏の軍営、エピローグ

②ワークシートに従って、問題を解いたり、問題に沿って脚本作りを進めたりします

本文において人物の台詞や心の声、ナレーターの台詞が穴あきになっています。その部分は、「死諸葛走生仲達」で皆さんに深めてほしいことなので、次の(五)内容チェックリストとも重なるところです。本文を読み深めたり、指定の関連資料から読み取ったりしながら、脚本作りを進めましょう。

③台詞は思いつきではなく、本文や資料から読み取って理由も話せるように

改変ではなく、その場でかわされた台詞を書くことを意識しましょう。本文の台詞の前後や間にも台詞があったはずです。本文や関連資料から読み取って、必然性や妥当性を意識しながら付け加えましょう。「お腹すいた…」「そうかい」など、適当な思い付きなら、すぐに書けます。ただの思い付きではなくて、なぜ、この台詞にしたのかという理由を話せることを大切にしてください。

④人物の基本的な口調は、脚本の他の完成部分に沿って書きます

人物の口調は、すでに完成している話し方を参考に書いてください。

(六) 脚本の内容チェックリスト

脚本の内容に以下のポイント九点を組み込んでください。

これらのポイントは、ワークシートの指示に従って、本文と関連資料から読み取りましょう。

* 本文からの読み取り……ポイント1, 3, 5, 7, 8, 9

* 関連資料からの読み取り…ポイント2, 4, 5, 6

- ・ 関連資料によっては、主張が反対のものもあります。全ての資料を根拠にする必要はありません。
- ・ 大切なのは、資料を読み比べて、問いに正対する内容を読み取ること。そして、どの資料から読み取ったから、その脚本の台詞を導いたのだ、ということを明確に説明できることです。

- 【🗨️ ポイント1 蜀と魏の力関係】を組み込んでいるか(本文)
- 【🗨️ ポイント2 当時の中国文化】を組み込んでいるか(関連資料)
- 【🗨️ ポイント3 諸葛亮の挑発】を組み込んでいるか(本文)
- 【🗨️ ポイント4 諸葛亮の仕事ぶり】を組み込んでいるか(関連資料)
- 【🗨️ ポイント5 司馬懿の策略】を組み込んでいるか(関連資料)(本文)
- 【🗨️ ポイント6 当時の戦についての知識】を組み込んでいるか(関連資料)
- 【🗨️ ポイント7 姜維の行動の意図】を組み込んでいるか(本文)
- 【🗨️ ポイント8 諸葛亮の策略】を組み込んでいるか(本文)
- 【🗨️ ポイント9 司馬懿の最後の台詞に込められた心情】を組み込んでいるか(本文)

(七) 脚本の関連資料

- 資料によつては、主張が反対のものもあります。全ての資料を根拠にする必要はありません。
- 大切なのは、資料を読み比べること。そして、どの資料から読み取ったから、その脚本の台詞を導いたのだ、ということを確認に説明できることです。

【🐼 ポイント1 蜀と魏の力関係】を組み込んでいるか

資料イ：魏と蜀の国勢を以下のように比較する。魏が十二州、六十六万戸、四百四十三万人を支配するのに対し、蜀は益州一州二十八万戸、九十四万人を支配するに過ぎない。（中公文庫『諸葛孔明』一九八五年）

資料ロ：五丈原に対峙する司馬懿率いる魏軍側は三十万、蜀の三倍もの大軍を擁しているため、当然蜀軍が五丈原から平原に折り立って戦えば、圧倒的な兵数で勝る魏軍が圧勝することは目に見えていた。諸葛亮は魏軍を挑発して討って出たところに隙を見つけて撃退するしか勝利の見込みがなかったのである。しかし、当然のことながら、司馬懿は長期戦の構えである。○

資料ハ：五丈原に布陣した諸葛孔明は、兵糧の補給が思うようにいかなかった。一方、魏の司馬懿仲達は、三十万の大軍を率いて、渭水の南側に砦を成した。多量の備蓄米が積蔵されていたので、持久戦に持ち込まれても心配ないと踏んでいた。○

資料ニ：

【🐼 ポイント3 諸葛亮の挑発】を組み込んでいるか

資料ホ：魏の明帝は司馬懿に対して、蜀に討って出ることを禁じていた。天才軍師である諸葛亮を畏れていたからだ。諸葛亮は婦人用の髪飾りと着物を司馬懿に送り付けて「男なら戦え。さもなくば女装でもして物笑いになるがよい。」と嘲笑って、挑発する。怒った司馬懿は明帝に決戦の許しを請うが、許さず、出撃の機会を失ってしまった。○

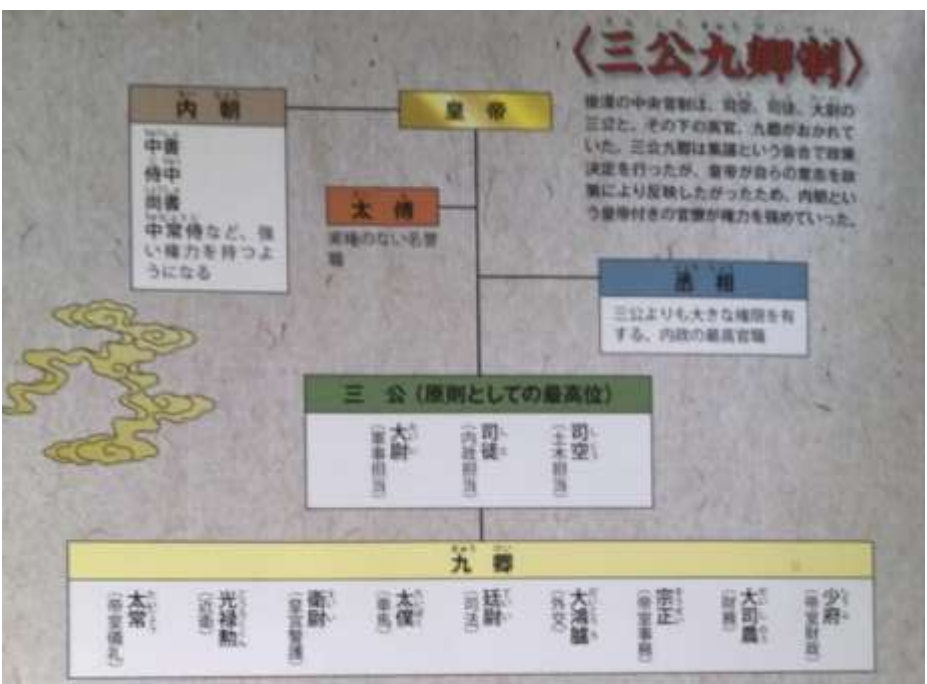
資料ヘ：『漢晋春秋』によると、司馬懿はもともと積極的に蜀と戦うつもりもなかったが、挑発行為に対して熱くなっている部下たちに戦う意志があるかのように振る舞うために、わざわざ明帝に蜀と戦う許しを請うたとしている。○

【ポイント4 諸葛亮の仕事ぶり】を組み込んでいるか

資料ト…もともと孔明は、自分にいくらかでも責任ある仕事があれば、それを人任せにできないたちであった。成都で丞相府の務めに忙しいときでも、小さいころまで、目配り、気配りを忘れなかった。おそらく五丈原の陣中でも事情は同じであつたに違いない。○

資料チ…有能であるがゆえに諸葛亮は、すべての仕事を自分で背負い込んだ。本来、丞相という国家全体の責任者が、軍を率いて自ら戦う必要などはない。あまりの激務ぶりに、見かねた部下が「すべての仕事を気にかけることはおやめください」と進言したことがある。自分を心配してくれる部下の言葉に、諸葛亮は喜び、感謝をしたのだが、結局は全ての仕事をこなし続けた。責任感が彼を駆り立てたのである。

資料…リ



【📍ポイント2 当時の中国文化】を組み込んでいるか

資料ヌ：孔明は使者に婦人用の髪飾りと白絹の喪服を持たせて司馬懿の本陣へと送り付ける。○

資料ル：三国時代の風俗についてはあまり記されていないため、わからないことが多い。また、この時代は混乱し、紙幣価値も下がり、貧しい時代でもあったため、裕福で身分の高い人のみ、絹を使用した服を着用していたと考えられる。

資料ヲ：

資料：ワ



【📍ポイント6 当時の戦についての知識】を組み込んでいるか

資料カ：一方司馬懿は住民の通報によって初めて蜀軍の撤退を知り、急遽軍勢を率いて追撃したが、撤退中の蜀軍の後詰めが反転、陣太鼓を打ち鳴らして反撃する気配を見せたので、待ち伏せを警戒して戦わずに引き返した。()

資料ヨ：蜀軍はこの危機に面して、わざと旗の向きを変え、出撃の軍鼓を鳴らして威嚇して、反撃の態勢を見せたので、(中略)。()

二二〇年、魏の曹ひが後漢を滅ぼし帝位につくと、蜀の劉備・呉の孫権も相次いで建国し、三国時代が始まった。

二三四年、強大な魏に対して、蜀は重臣・諸葛亮の知略をもって対抗しようとした。蜀の諸葛亮は十万もの軍勢を引き連れ、魏の討伐へと向かい、五丈原にて戦いの火蓋が切り落とされようとしていた。

しかし、魏の大將軍である司馬懿はなかなか諸葛亮と戦おうとしなかった。

「中国古代の服飾研究」沈従文著・京都書院（絶版）

「中国服装史 五千年の歴史を検証する」華梅著・白帝社

「中国古代甲冑図鑑」劉永華著・アスペクト（絶版）

「中国古代の生活史」林巳奈夫著・吉川弘文館

No.	本文	脚本
	(5)乃ち遣るに中輦婦人の服を以つてす。 (6)亮の使者懿の軍に至る。 (7)懿其の寢食及び事の煩簡を問ひて、戎事に及ばず。 (8)使者曰はく、「諸葛公夙に興き夜に寐ね、罰二十以上は皆親ら覽る。噉食する所は数升に至らず。」と。 (9)懿人に告げて曰はく、「食少なく事煩はし。」	【例】 ○魏の軍営 ・諸葛亮の使者が、司馬懿の軍営を訪ねた。 蜀の使者「わが君主からの贈り物でございます。」 ・使者が箱を開ける。息をのむ魏の家臣たち。少し驚く司馬懿。 魏の家臣「(激高しながら)なんと…これ女物の衣服ではないか!」

本文	脚本
(10) 其れ能く 久しからん や。」と。 (11) 赤くし て芒あり。 (12) 亮病篤 し。 (13) 大星有 り、亮の宮 中に墜つ。 (14) 未だ幾 ならずし て亮卒す。	

本文	脚本
<p>(15) 長史楊儀軍を整へて還る。</p> <p>(16) 百姓奔りて懿に告ぐ。</p> <p>(17) 懿之を追ふ。</p> <p>(18) 姜維儀をして旗を反し鼓を鳴らして、将に懿に向かはんとするがごとくせしむ。</p> <p>(19) 懿敢へて逼らず。</p> <p>(20) 百姓之が諺を為りて曰はく、「死せる諸葛生ける仲達を走らす。」と。</p> <p>(21) 懿笑ひて曰はく、「吾能く生を料るも、死を料る能はず。」と。</p>	

脚本の評価について

(一) 課題内容

「死諸葛走生仲達(三国志)」を読んで、史伝の面白さや特徴を理解して、登場人物の複雑な人間関係や心理描写を反映させたオリジナル脚本を作りなさい。

(二) 課題の条件

① 設定は事前に指定します

時、場所、人物などの設定は指定しますので、それに沿って脚本作りをしてください。
全員を登場させ、新しい人物を出すなどの変更はしないでください。

② 台詞の数を二倍から三倍に増やします

本文において台詞は四個あります。これを二倍から三倍八個から十二個に増やしましょう。

③ 台詞は行間を埋めます

改変ではなく、その場でかわされた台詞を書くことを意識しましょう。

本文の台詞の前後や間にも台詞があったはずです。関連資料から読み取って、必然性や妥当性を意識しながら付け加えましょう。

④ 人物の口調は見本に沿って書きます

人物の口調は、『』の話し方を見本に書いてください。

(三) ルーブリック評価

評価の 観点	課題の条件を満たしている	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル 3	4 つ全ての課題の条件を満たしている。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル 2	課題の条件を3 つ満たしている。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル 1	2 つ以下の課題の条件を満たしている。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

(四) 中間報告

A ルーブリック評価による自己評価

≪ルーブリックによる自己評価の手順≫

手順① 左記の表を見て、評価の観点ごとに、自分の解答がそのレベルに該当するのかわ評価します。該当する欄に直接○印をつけましょう。

手順② 全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

レベル1を一点、レベル2を二点、レベル3を三点として採点し、最高点を九点、最低点を三点とします。ルーブリック表の下の方欄に書き入れましょう。

≪自己評価をしてみましょう≫

評価の観点	課題の条件を満たしている	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル3	4 つ全ての課題の条件を満たしている。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル2	課題の条件を3つ満たしている。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル1	2 つ以下の課題の条件を満たしている。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

課題の条件を満たしている

点

+

様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する

点

+

適切に体裁を整える

点

=

合計

点

B 内容チェックリストによる自己評価

脚本の内容を読み返して、組み込まれている要素にはチェック（✓）をつけましょう。

✓を付けた数を数えて、書き入れてください。

- ☐ 1・諸葛亮の挑発を組み込んでいる
- ☐ 2・司馬懿の策略を組み込んでいる
- ☐ 3・諸葛亮の策略を組み込んでいる
- ☐ 4・楊儀の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 5・姜維の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 6・司馬懿が最後の言葉に込めた気持ちを組み込んでいる

⤵補足設定的なこと⤵

- ☐ 7・当時の中国文化を反映させている（服装など）
- ☐ 8・当時の戦についての知識を反映させている
- ☐ 9・星に対する当時の人々の考えを反映させている
- ☐ 10・蜀と魏の力関係と、蜀が魏の討伐を続ける理由を組み込んでいる
- ☐ 11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶりについて反映させている
- ☐ 12・人物同士の力関係を反映させている

点／12点

(五) 作品発表会

A ルーブリック評価による自己評価

⌘ルーブリックによる自己評価の手順⌘

手順① 左記の表を見て、評価の観点ごとに、自分の解答がそのレベルに該当するのか評価します。該当する欄に直接○印をつけましょう。

手順② 全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

レベル1を一点、レベル2を二点、レベル3を三点として採点し、最高点を九点、最低点を三点とします。ルーブリック表の下の空欄に書き入れましょう。

評価の観点	課題の条件を満たしている	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル3	4 つ全ての課題の条件を満たしている。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル2	課題の条件を3つ満たしている。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル1	2 つ以下の課題の条件を満たしている。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

⌘自己評価⌘

課題の条件を満たしている

点

+

様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する

点

+

適切に体裁を整える

点

=

合計

点

B 内容チェックリストによる自己評価

脚本の内容を読み返して、組み込まれている要素にはチェック（✓）をつけましょう。

✓を付けた数を数えて、書き入れてください。

- ☐ 1・諸葛亮の挑発を組み込んでいる
- ☐ 2・司馬懿の策略を組み込んでいる
- ☐ 3・諸葛亮の策略を組み込んでいる
- ☐ 4・楊儀の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 5・姜維の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 6・司馬懿が最後の言葉に込めた気持ちを組み込んでいる

⋈補足設定的なこと⋈

- ☐ 7・当時の中国文化を反映させている（服装など）
- ☐ 8・当時の戦についての知識を反映させている
- ☐ 9・星に対する当時の人々の考えを反映させている
- ☐ 10・蜀と魏の力関係と、蜀が魏の討伐を続ける理由を組み込んでいる
- ☐ 11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶりについて反映させている
- ☐ 12・人物同士の力関係を反映させている

点／12点

(六) 作品発表会

A ルーブリック評価による相互評価

⌘ ルーブリックによる相互評価の手順⌘

手順① 左記の表を見て、評価の観点ごとに、自分の解答がそのレベルに該当するのか評価します。該当する欄に直接○印をつけましょう。

手順② 全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

レベル1を一点、レベル2を二点、レベル3を三点として採点し、最高点を九点、最低点を三点とします。ルーブリック表の下の方欄に書き入れましょう。

評価の観点	課題の条件を満たしている	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル3	4 つ全ての課題の条件を満たしている。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれのない推敲された文章になっている。
レベル2	課題の条件を3つ満たしている。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル1	2 つ以下の課題の条件を満たしている。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

課題の条件を満たしている

点

+

様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する

点

+

適切に体裁を整える

点

=

合計

点

B 内容チェックリストによる相互評価

脚本の内容を読み返して、組み込まれている要素にはチェック（✓）をつけましょう。

✓を付けた数を数えて、書き入れてください。

- ☐ 1・諸葛亮の挑発を組み込んでいる
- ☐ 2・司馬懿の策略を組み込んでいる
- ☐ 3・諸葛亮の策略を組み込んでいる
- ☐ 4・楊儀の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 5・姜維の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 6・司馬懿が最後の言葉に込めた気持ちを組み込んでいる

⧘ 補足設定的なこと ⧘

- ☐ 7・当時の中国文化を反映させている（服装など）
- ☐ 8・当時の戦についての知識を反映させている
- ☐ 9・星に対する当時の人々の考えを反映させている
- ☐ 10・蜀と魏の力関係と、蜀が魏の討伐を続ける理由を組み込んでいる
- ☐ 11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶりについて反映させている
- ☐ 12・人物同士の力関係を反映させている

点／12点

(七)教科担当から

A ルーブリック評価による相互評価

⇨ルーブリックによる相互評価の手順⇨

手順① 左記の表を見て、評価の観点ごとに、自分の解答がそのレベルに該当するのかわかれば評価します。該当する欄に直接○印をつけましょう。

手順② 全ての観点を自己評価したら、合計点をだします。

レベル1を一点、レベル2を二点、レベル3を三点として採点し、最高点を九点、最低点を三点とします。ルーブリック表の下の方欄に書き入れましょう。

評価の観点	課題の条件を満たしている	様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する	適切に体裁を整える
レベル3	4 つ全ての課題の条件を満たしている。	本文からは読み取れなかったことを、様々な関連する文章から読み取って関連づけ、補って記述している。	文体の統一をするとともに、誤字脱字やねじれの無い推敲された文章になっている。
レベル2	課題の条件を3つ満たしている。	本文には書いていなかったことを、特定の文章のみからそのまま補って記述している。	いくつか文法上の間違いはあるが、ほぼ正確に書けている。
レベル1	2 つ以下の課題の条件を満たしている。	本文から読み取れることのみ記述している。	文法上の間違いが多い。

課題の条件を満たしている

点

+

様々な資料から読み取ったことを関連付けて補完する

点

+

適切に体裁を整える

点

=

合計

点

B 内容チェックリストによる相互評価

脚本の内容を読み返して、組み込まれている要素にはチェック（✓）をつけましょう。

✓を付けた数を数えて、書き入れてください。

- ☐ 1・諸葛亮の挑発を組み込んでいる
- ☐ 2・司馬懿の策略を組み込んでいる
- ☐ 3・諸葛亮の策略を組み込んでいる
- ☐ 4・楊儀の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 5・姜維の行動の意図を組み込んでいる
- ☐ 6・司馬懿が最後の言葉に込めた気持ちを組み込んでいる

⋈補足設定的なこと⋈

- ☐ 7・当時の中国文化を反映させている（服装など）
- ☐ 8・当時の戦についての知識を反映させている
- ☐ 9・星に対する当時の人々の考えを反映させている
- ☐ 10・蜀と魏の力関係と、蜀が魏の討伐を続ける理由を組み込んでいる
- ☐ 11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶりについて反映させている
- ☐ 12・人物同士の力関係を反映させている

点／12点

グループ協議の手引き

集団で議論を重ね、何らかの結論を出す必要がある場合は多いです。さまざまな意見の中から、よい結論を導き出すにはどうすればよいのでしょうか。議論の建設的な進め方について考え、話し合いの練習をしてみましょう。

(一) 話し合いの仕方

グループで効果的な議論をするためには、グループ内での役割をあらかじめ決めておくのも一つの方法です。次のような役割を分担してみましょう。

手順1 役割分担をする

- ・司会者…全体の司会、進行
- ・タイムキーパー…時間を計り、制限時間までの残り時間を知らせます
- ・記録係…会議の発言をメモし、議事録にまとめます

手順2 テーマと制限時間を決めて話し合います

(二) 司会の役割

◆ポイント

※司会者の役割

- ・司会者になった人は、話し合いの中で次のような役割を果たすよう、心がけましょう。
- ・議題確認…何について話し合うのか
- ・進行手順の確認…どのように話し合うのか
- ・発言促進…指名、促し、など
- ・論点整理…議論の流れを各所でまとめる
- ・軌道修正…論点がずれてきたら本筋に戻す
- ・まとめ…意見の共通点を整理し、結論をまとめる

※話し合いで大切なこと

- ・他の人の発言を途中でさえぎらず、最後まで耳を傾ける
- ・発言するときには、何について話すかを初めに示す
- ・テーマに沿って発言する。今、何についてどのように話し合っているのかを意識する。
- ・前の人の発言との関係(賛成・反対など)に注意し、それがわかるように話す。
- ・自分の意見を明確に示し、その理由を添えるようにする。
- ・どのようにしたら結論にたどり着くかを意識しながら、積極的に参加する。

◆チェック

- ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力しながら話し合いをすることができた。
- ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献することができた。

全体の振り返りカード

4年()組()番()

6 時間お疲れ様！

プリントNo.7を見返しながら、自分を振り返りましょう。

《振り返り》は、学習課題を解決するために欠かせないものです！自分自身が《習得したこととわからなかったことを見つめる》ことで、課題解決のために、次に自分がすべき小さな課題が発見でき、答えに近づいていけます。また、教科担当も読ませてもらい、より良い授業作りに生かしたいと思います♪

①必須：あなたがこの時間で習得したことはなんですか？

②必須：あなたがこの時間でわからなかったことは何ですか？

古典探究【事後アンケート】 4年()組()番()

◆今回の6時間分の授業について、良いと思ったところ、やりにくいと思ったところなど、感じたことを自由に、できるだけ詳しく回答してください。

それぞれの項目の4～1の数字のあてはまるところに、一つずつ○をつけましょう。

4：とてもあてはまる 3：少しあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

◆漢文について

①漢文は好きです。 4－3－2－1

理由

②漢文の勉強で困っていることはあります。 4－3－2－1

具体的に

③三国志は好きです。 4－3－2－1

理由

◆授業形態について

④教員からの講義だけでなく、友達との話し合いを多用して進める授業…… 4－3－2－1

は、わかりやすいです。

理由

⑤設定された課題を通して、調査(Research)→計画(Plan)→実施(Do)→…… 4－3－2－1

評価(Check)→改善(Action)という流れで進める授業はわかりやすいです。

理由

◆ルーブリックについて

⑥ルーブリック(評価のための判断基準表)を事前に提示して評価を行う…… 4－3－2－1

授業はわかりやすいです。

理由

◆探究ブックについて

⑦各自で課題解決できるように、予習の仕方や脚本の書き方や話し合いの仕方…… 4－3－2－1

等の手引きなどのプリントを収録した探究ブックは、理解の助けとなり、

わかりやすいです。

理由

◆裏面あります。

◆その他

⑧上記以外で伝えたいことがあれば、何でも書いてください。



以上です。ご協力ありがとうございました！